

大
受理番号第35号
受理日 22.12.24

国総入企第24号
国総建振第7号
平成22年12月16日

(社) 日本建設機械化協会会長 殿

国土交通省建設流通政策審議官



平成22年度建設生産システム合理化推進協議会申合せ事項の周知について

「建設生産システム合理化推進協議会」においては、総合工事業者と専門工事業者が対等の立場に立って、建設生産システムが抱える種々の問題の解決に向けて具体的な基準・ルール等を確立するため、かねてから「総合工事業者・専門工事業者間における契約締結に至るまでの適正な手順等に関する指針」、「総合工事業者・専門工事業者間における条件変更時の適正な手順等について（見積条件と実際の施工条件が異なっていた場合の適正な対応）」のほか、総合工事業者と専門工事業者との間の見積条件の明確化を図る観点から「総合工事業者・専門工事業者間における工事見積条件の明確化について－「施工条件・範囲リスト」（標準モデル）の作成－」について申合せが行われ、同協議会からの要請を受け申合せの周知について特段のご配慮をお願いしてきたところである。

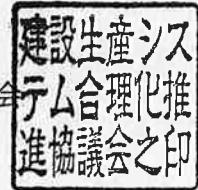
今般、同協議会において、前記「施工条件・範囲リスト」について、すでに申合せが行われている15工種の標準モデルのうち1工種（金属製建具・カーテンウォール工事）の改訂がなされるとともに、新たに1工種（左官工事）の申合せが行われ、同協議会より関係団体に対する周知について協力依頼があったところである。

見積協議の際の施工条件を当事者間で明確にすることは、適正な見積りと契約締結には不可欠のものであり、建設生産システムの合理化に向けて大きな意味を持つことから、これらの趣旨を踏まえ、傘下建設業者に対して、同協議会の申合せの周知について、特段のご配慮方お願いする。

平成22年12月16日

国土交通省大臣官房
建設流通政策審議官
大森 雅夫 様

建設生産システム合理化推進協議会



平成22年度建設生産システム合理化推進協議会申合せ事項の
周知等について（協力依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協議会の活動につきまして、格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協議会では、従来より「契約適正化」の推進方策について検討を行っており、平成19年度においては、『総合工事業者・専門工事業者との間における工事見積条件の明確化について－「施工条件・範囲リスト」（標準モデル）の作成－』（11工種）について、4工種（機械土工事、建築根切り工事、硝子工事、塗装工事）の追加を申し合わせ、周知等を行ったところであり、同時に貴省からもその周知方について通知して頂いたところであります。

当協議会におきましては、今般、別添のとおり金属製建具・カーテンウォール（改訂）、左官工事（新規追加）の2工種について取りまとめ、申合せを行い、関係団体に周知等を図ったところであります。

つきましては、貴省におかれましても、この申合せの趣旨をご理解頂き、周知等につきまして特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

総合工事業者・専門工事業者間における
工事見積条件の明確化について

－「施工条件・範囲リスト」(標準モデル)の作成－

平成22年12月16日
建設生産システム合理化推進協議会

建設産業の生産活動における設計者、総合工事業者、専門工事業者、資機材業者等の分業関係のうち、総合工事業者、専門工事業者間の契約関係については、本協議会において、これまで「契約締結に至るまでの適正な手順等に関する指針」(平成5年3月)、「条件変更時の適正な手順に関する指針(見積条件と実際の施工条件が異なっていた場合の適正な対応)」(平成6年3月)についての申合せを行い、その適正化に取り組んできたところである。

しかしながら、国土交通省が毎年実施している「下請取引等実態調査」によれば、なお一部に下請契約において、十分な見積協議に基づく書面による契約が行われておらず、施工条件が不明確なままに着工されているケースが見られる。また、元請による、いわゆる一方的な「指値」による発注など、下請に対するしわ寄せを生んでいると指摘されている面もある。

本協議会では、こうした実態を踏まえ、適正な競争条件の整備と励行に向け、契約締結の適正化を促進するための踏み込んだ協議を重ねてきたところである。その結果、工事見積条件の明確化を図ることが重要であり、特に見積時点における価格を決定する事項について書面により明確にするため、標準モデルとして、平成13年度に見積協議の際に活用する「施工条件・範囲リスト」(9工種)を作成し、その後、2工種(圧接工事、鉄骨工事)を追加し、また、平成18年度においては、4工種(機械土工事、建築根切り工事、硝子工事、塗装工事)の追加を行い、併せて15工種の標準モデルを作成するに至っております。

本協議会は、さらに、今般、1工種の改訂(金属製建具・カーテンウォール)及び1工種の新規追加(左官工事)を実施し、その普及・促進を申し合わせるものである。また、引き続き他工種についてもその作成に努めていくものとする。

なお、本協議会構成団体は、傘下会員企業に対し、パンフレットの作成・配布や研修の実施等により、この申合せの主旨の周知徹底を図り、契約の適正化に努めるものとする。

総合工事業者・専門工事業者間における

工事見積条件の明確化について

－「施工条件・範囲リスト」（標準モデル）の作成－

平成22年12月16日

建設生産システム合理化推進協議会

平成19年3月13日に本協議会において内容の普及・促進を申し合わせた15工種の「施工条件・範囲リスト」に、今般、1工種の内容を改訂するとともに、新たに標準モデル1工種を追加する。（合計16工種）

記

- 工種名称及び内容の改訂
 - ・ 金属製建具・カーテンウォール（旧名称）
 - ・ 金属製建具・カーテンウォール・シャッター・オーバーヘッドドア工事（新名称）

- 工種追加
 - ・ 左官工事

<参考>

平成13年度作成及び平成14、15、18年度追加の標準モデル

- ・ 機械土工事（平成18年度）
- ・ 建築根切り工事（平成18年度）
- ・ 型枠大工工事
- ・ 鉄骨工事（平成15年度）
- ・ 鉄筋工事
- ・ 圧接工事（平成14年度）
- ・ コンクリート打設工事
- ・ 外部足場工事
- ・ 金属製建具・カーテンウォール工事
- ・ 内装仕上工事
- ・ 防水工事
- ・ 硝子工事（平成18年度）
- ・ 塗装工事（平成18年度）
- ・ 空調衛生工事
- ・ 電気設備工事

なお、パンフレットの改訂及びWeb上の公開については、1月中旬頃を予定しています。

※ Webは、ヨイケンセツ・ドットコム (<http://www.yoi-kensetsu.com>) の建設生産システム合理化推進協議会のコーナーにあります。

金属製建具・カーテンウォール・シャッター・オーバーヘッドドア工事 施工条件・範囲リスト(改訂)

名称	範囲		名称	範囲			
	指示	確認		指示	確認		
建具製品本体	1. アルミ製建具		シール	1. 自社請負製品間シーリング			
	2. カーテンウォール			2. 他社・他業者との取合シーリング			
	3. 鋼製建具			取付・加工	1. 部材の現場組立		
	4. 鋼製軽量建具				2. 躯体への取付(鉄筋、ビス止め)		
	5. ステンレス建具				3. アンカー出し		
	6. トップライト				4. ガラス嵌込み		
	7. スクリーン				5. コンクリートはつり		
	8. 金属工事()				6. アンカー打設(あと施工の場合)		
	9. シャッター・オーバーヘッドドア等				7. サッシ廻りモルタル詰め		
	10. その他()				8. 二次配線・配管(電動の場合)		
建具金物・付属品	1. 建具金物		運搬		1. 荷揚(荷揚用機器への積込、積下し手間)		
	標準シリンダー錠(MK無し、付き)				2. 荷揚用機器(組立・解体・損料、使用料 オペレーター費用)		
	特殊錠()			3. 材料等の場内水平小運搬			
	ピボットヒンジ			4. 材料等の現場搬入			
	ドアクローザー			5. 支給材の小運搬			
	フロアヒンジ			6. 貸与機械の有資格者の配置			
	押板、押棒			7. 運搬・荷揚用コンテナ(大規模)			
	CW開口部(サッシ)金物			足場	1. 脚立、足場板の組立、解体、移動、損料		
	排煙窓用オペレーター				2. ローリングタワーの移動(小規模)		
	電動装置(排煙・換気用)、スイッチBox				3. ローリングタワーの移動(大規模)		
自動開閉装置(エンジンドア)		4. ローリングタワーの組立解体					
煙感知器		5. 足場等の盛替					
制御盤・操作ボックス(及び配線・配管取付へ)		6. 高所作業車					
開閉装置(シャッター・オーバーヘッドドア)		7. ゴンドラの揚重・取付・盛替作業					
障害物感知装置(シャッター・オーバーヘッドドア)		墨出し	1. 基準墨				
危害防止装置(シャッター・オーバーヘッドドア)			2. 仕上げに必要な基準となる墨				
自動閉鎖装置(シャッター・オーバーヘッドドア)			3. 施工に必要な墨出し				
手動閉鎖装置(シャッター・オーバーヘッドドア)			養生・クリーニング	1. 製品への(搬入)養生			
ステンレスガイドレール等 (シャッター・オーバーヘッドドア)				2. 取付中の溶接火花落下防止養生			
その他()				3. 取付完了後の養生			
2. 付属品				4. 元請への引渡し前のクリーニング(1回)			
アングル				片付け	1. 建設廃棄物の場外搬出・処分に係る費用		
額縁					2. 梱包材・発生材の場内指定場所への集積		
膳板					機器	1. 取付機器(測定器等)	
水切		2. 取付用揚重機器、吊り治具等					
結露受		3. 溶接電源(ウェルター)					
網戸		図面・書類				1. 工場製作図・施工図	
木ビス			2. 取合う他業種製品との取合い作図				
三方枠(シャッター・オーバーヘッドドア)			3. 製作・施工要領書				
リモコン装置(シャッター・オーバーヘッドドア)			見本			1. 実験用供試体工事	
その他()						2. 見本品及び模型製作	
3. 金属工事				検査・確認		1. 製品検査	
笠木						2. 自主検査表提出	
下部水切り					3. 検査立会		
ポーター					安全	1. 作業保護具	
軒天井						2. 安全パトロール	
ブラインドボックス(カーテンボックス)		3. 揚重の合図・玉掛け					
ファンコイルカバー		その他				1. 作業時間(: ~ :)	
下地カバー						2. 休日作業	
フラッシュング			3. 搬入車両規制				
層間塞ぎ(受け)			4. 工所用電力・給水設備の使用料金				
手摺			5. 現場詰所・資材倉庫等仮設物				
パネル(下地カバー等:)			6. 作業員通勤車輛の駐車場使用料				
パネル(CW部)			別途協議・確認事項				
その他()							
4. 鋼材(建具・CW・金属工専用)							
鋼材下地(下地材・補強材:)							
5. ガラス							
6. 塗装							
防錆塗装()							
指定仕上塗装()							
補助材料	1. 取付用鉄筋(くさび2. に移動)			参考	・インサートは、コンクリートに埋込むサッシアンカー		
	2. くさび				・シャッターの操作Boxは、スイッチBoxに含む		
	3. インサート(サッシアンカー)		・一次ファスナー(先埋込み)は、コンクリートに埋込むファスナーで、埋込みは躯体工事、鉄骨付けの場合は、鉄骨工事				
	4. 取付金具・一次ファスナー(先埋込み)						
	5. 取付金具・二次ファスナー						
	6. 耐火ボード(耐火30分、60分)						
	7. 有孔ボード						

1. 指示欄は総合工事業者、確認欄は専門工事業者が使用する。(○印=見積に含む・条件内、×印=見積に含まない・条件外)
2. 上記項目以外に必要な項目については、適宜記入し、使用する。
3. 特に双方の協議・確認が必要な事項については、別途協議・確認事項に項目を記入し、使用する。
4. ()内には具体的な内容を明示し、使用する。

凡例

左官工事
施工条件・範囲リスト(新規追加)

	名 称	範囲	
		指示	確認
材 料	1.結合材料		
	2.混和材料		
	3.左官用軽量発泡骨材		
	4.骨材		
	5.水		
	6.既調合材料 ・下地調整塗材(C-1,C-2,CM-1,CM-2) ・ラス下地用軽量モルタル ・カラーセメント ・既調合プaster ・セルフレベリング材		
	7.高強度材料(特殊ポリマーモルタル等)		
補助材料	1.定規		
	2.面木		
	3.床用足付き目地棒(黄銅)		
	4.目地棒		
	5.吸水調整材		
下 地	1.下地の品質・精度・ひび割れ・不陸など点検		
	2.下地の調整 ・硬化不良面の処理 ・P.B等ジョイント部の処理		
	3.掃除(清掃・ケレン)		
	4.目荒らし・超高压洗浄		
	5.異種下地接合部処理		
	6.接合材(釘・ビス)の頭部分の処理		
施 工	1.次工程のための下地づくり工事 1-① 補助材料取付手間 1-② 目地割付 1-③ 目地棒取付及び後処理 1-④ ラス貼り下地の製作		
	2.塗り仕上げ工事 2-① 塗り仕上げの適用部位の確認 2-② 躯体誘発目地処理 2-③ 化粧目地の取付及び後処理		
	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)		
	2.荷揚用機器(組立・解体・損料・使用料・オペレータ費用) ・荷揚高さ40m未満 ・荷揚高さ40m以上		
	3.材料等の場内水平小運搬		
	4.材料等の現場搬入		
	5.支給材の小運搬		
	6.貸与機械の有資格者の配置		
	7.運搬・荷揚用パレット、台車		
	8.足場等の盛替		
足 場	1.脚立・足場板の組立、解体、移動		
	2.可搬式作業台		
	3.ローリングタワーの移動(小規模)		
	4.ローリングタワーの移動(大規模)		
	5.ローリングタワーの組立解体		
	6.足場等の盛替		
	7.高所作業車		
	8.ゴンドラの揚重・取付・盛替作業		
仮 設	1.混練り場作りの手間		
	2.混練り場作りの材料(日除け・雨除け・保湿等)		
	3.モルタル洗浄水処理施設		
	4.仮設材(足場板・脚立・投光器等の材料)		
墨 出 し	5.各階の給水設備		
	1.基準墨(通り芯・レベル墨)		
	2.仕上墨(小墨)		
	3.天端墨(各種基礎及び床・立上り等コンクリート押え天端)		
4.階段墨			

	名 称	範囲	
		指示	確認
養生	1.施工前の養生(ビニルシート等)		
	2.施工中の養生(板囲い、ビニル等)		
	3.施工後の養生(板囲い、ビニル等)		
	4.天候に対する処置(ビニル、帆布シート等)		
片付	1.建設廃棄物の場外搬出・処分に係る費用		
	2.梱包材・発生材の場内指定場所への集積・分別		
	3.足場材等支給材の指定場所への片付け		
	4.作業終了後の片付・清掃		
機 器	1.左官工具(一輪車・舟等)		
	2.計測用具(レベル・墨出し用具等)		
	3.計測用具(機械用レベル)		
	4.左官機械(ミキサー・ハンドミキサー等)		
	5.運搬機(ウインチ・ポンプ等)		
	6.仕上げ機械(研磨機・トロウエル等)		
図 面	1.施工計画書		
	2.施工要領書		
見 本	1.見本板・カタログ		
	2.見本塗り		
	3.モックアップ		
検 査 ・ 確 認	1.自主検査・検査立会		
	2.要求品質による検査(使用材料・塗り厚・状態・ひび割れ・浮き)		
	3.塗付け量検査・確認		
	4.公的試験表		
	5.製造業者社内試験表、出荷証明書		
安 全	1.作業保護具		
	2.安全パトロール		
	3.揚重の合図・玉掛け		
そ の 他	1.作業時間(: ~ :)		
	2.休日作業		
	3.搬入車両規制		
	4.工事用電力・給水設備の使用料金		
	5.現場詰所・資材倉庫等仮設物		
	6.作業員通勤車両の駐車場使用料		
別 途 協 議 ・ 確 認 事 項	1.「付け送り」の費用		
	2.現場調合・既調合の確認		
	3.塗り回数による工法の確認		
	4.左官工事のための下地の製作範囲の確認		
	5.法令・規格・基準類の優先順位		
	6.工事範囲の不明確な箇所についての対処法		
	7.左官施工以外の他の要因による不具合箇所の対処法		
	8.足場解体時の足場つなぎ跡の処理費用		
	9.柱筋内部、壁筋内部のコンクリート均し費用		
	10.レベル機械の設置場所の確保		
	11.型枠工事使用セパレーター金物の処理及び片付・清掃		
	12.床コンクリート直仕上げ等施工に於ける仕上りの平坦さの標準値(JASS5)内のレベル調整(補修)		
	13.床コンクリート直仕上げ等施工に於ける上記以外の補修		
	(例 キズ、クギ穴、床と立上がり型枠面との取合い及びコンクリートのこぼれ、取付け金物等との取合修正)		
	14.床コンクリート直仕上げ打設中のレベルチェック		
15.施工中急な天候不良による仕上がり不具合の修正			

(凡例)

1. 指示欄は総合工事業者、確認欄は専門工事業者が使用する。(○印=見積に含む・条件内、×印=見積に含まない・条件外)
2. 上記項目以外に必要な項目については、適宜記入し、使用する。
3. 特に双方の協議・確認が必要な事項については、別途協議・確認事項欄に項目を記入し、使用する。
4. () 内には具体的な内容を明示し、使用する。
5. 材料の1~6番はJASS15 2節を参照